

7 - 2 地震予知研究計画にもとづく地磁気永年変化精密観測 (1981年9月～12月および1982年1月～3月)

Precise Observation of Geomagnetic Secular Variation under the Project of
Earthquake Prediction Research, October - December, 1981 and January - March,
1982

地震予知研究計画・地磁気研究グループ
Geomagnetic Research Group on Earthquake Prediction

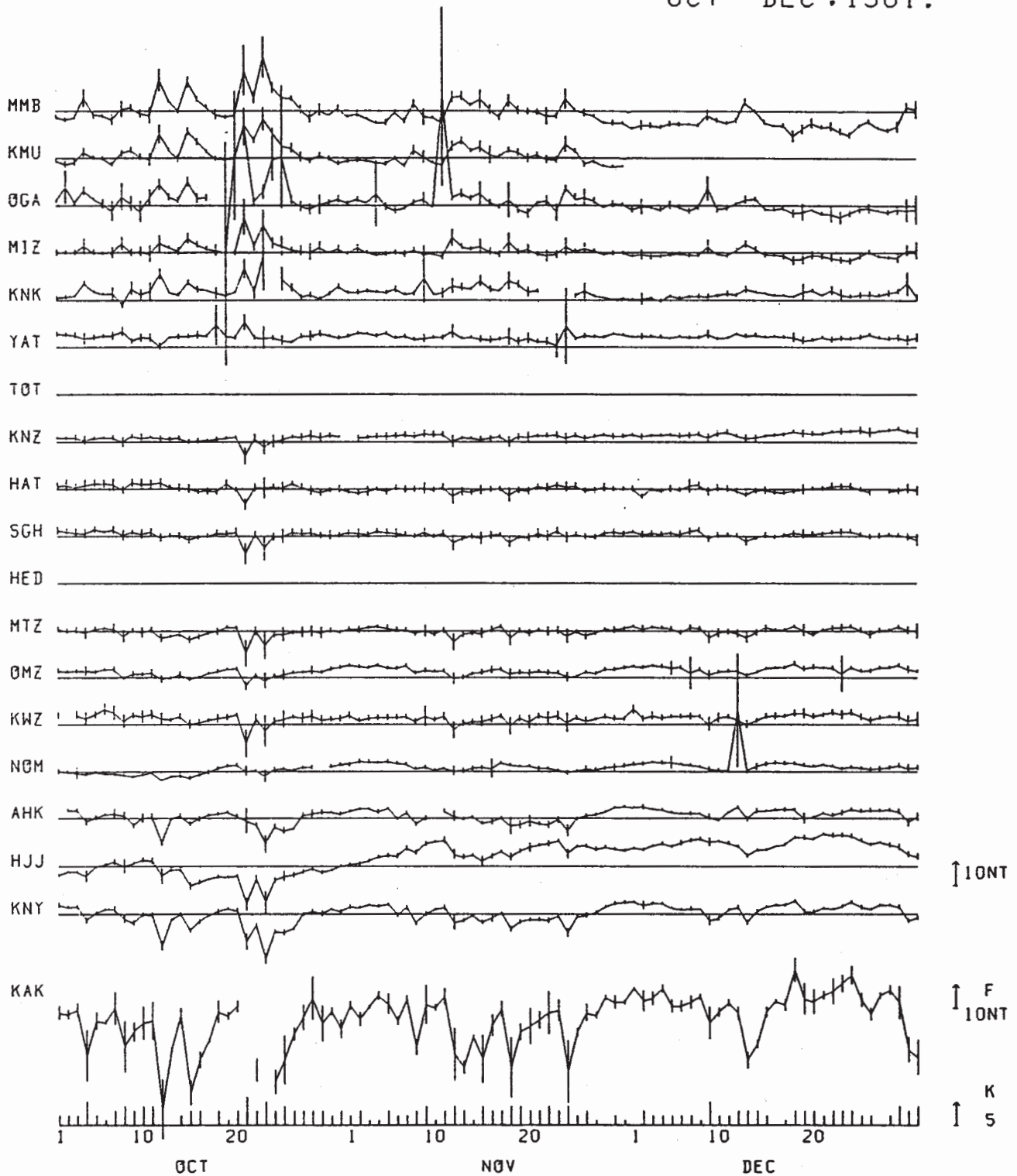
1981年10月～12月および1982年1月～3月の観測結果をまとめて報告する。

第1図および第2図は柿岡を基準とする各測点の全磁力夜間値差の日平均値および標準偏差(男鹿・金華山は5個, 他は15個平均)を示したものである。各図の下段に対応する時間の柿岡における全磁力変化およびK - 指数が示してある。

10月末から11月半ば頃にかけて, 八丈島においてかなり特徴的な変化がみとめられる。なお, 10月21日, 10月23日の柿岡のF値は図にプロットされていないが通常のレベルより60 nT程下がっている。3月21日に浦河沖地震(M ≒ 7.3)が発生したが, 全磁力値差に異常はみられなかった。

DIFFERENCE IN TOTAL FORCE

OCT - DEC. 1981.

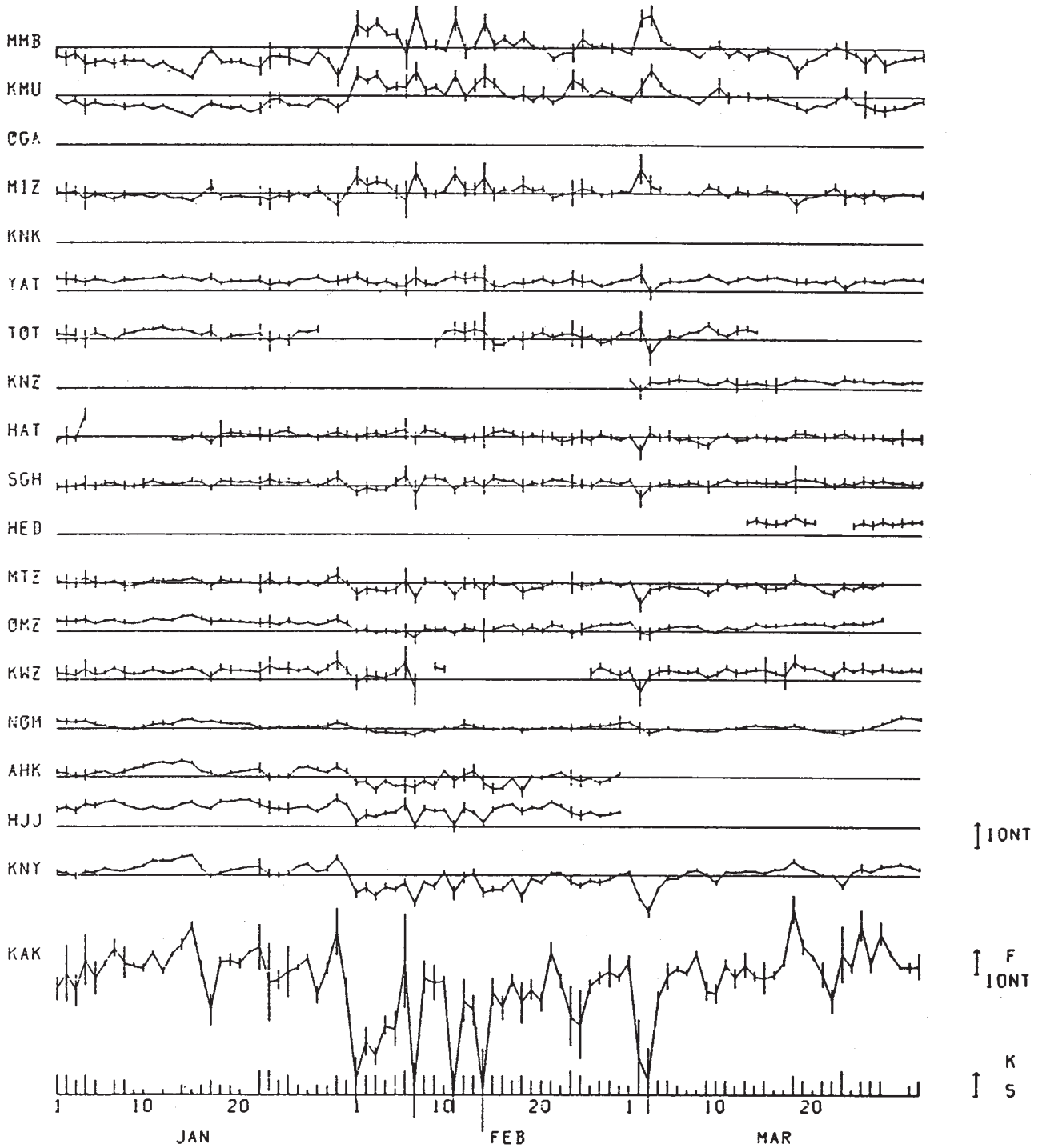


第 1 図 柿岡に対する各観測点の全磁力夜間値差の変化, 1981 年 10 月~12 月

Fig. 1 Day-to-day change of the difference of nighttime total-force intensity at each station from that at Kakioka, for the period from October to December, 1981.

DIFFERENCE IN TOTAL FORCE

JAN - MAR, 1982.



第2図 柿岡に対する各観測点の全磁力夜間値差の変化, 1982年1月~3月

Fig. 2 Day-to-day change of the difference of nighttime total-force intensity at each station from that at Kakioka, for the period from January to March, 1982.